

# GRIスタンダード対照表

GRIスタンダード番号	開示事項	ESG REPORT 2023 掲載箇所	掲載ページ
<b>一般標準開示項目</b>			
<b>GRI 102：一般開示項目 2016</b>			
<b>1. 組織のプロフィール</b>			
102-1	組織の名称	・会社情報	5
102-2	活動、ブランド、製品、サービス	—	—
102-3	本社の所在地	・会社情報	5
102-4	事業所の所在地	・会社情報	5
102-5	所有形態および法人格	・会社情報	5
102-6	参入市場	・創業者 久保田権四郎の創業者精神 ・企業理念 ・長期ビジョン GMB2030 実現に向けた K-ESG 経営 ・マテリアリティとありたい姿、指標	3 4 7 9
102-7	組織の規模	・会社情報 ・財務ハイライト ・非財務ハイライト	5 11 13
102-8	従業員およびその他の労働者に関する情報	・従業員との関わり	112
102-9	サプライチェーン	・お客様との関わり - 生産・品質管理	99
102-10	組織およびそのサプライチェーンに関する重大な変化	—	—
102-11	予防原則または予防的アプローチ	・気候変動の緩和と適応 ・循環型社会の形成 ・水資源の保全 ・化学物質の管理 ・生物多様性の保全 ・環境配慮製品・サービスの拡充 ・環境マネジメント ・内部統制・リスクマネジメント - 内部統制・リスクマネジメント	36 51 55 58 61 66 74 166
102-12	外部イニシアティブ	・編集方針 ・環境コミュニケーション - 環境に関する業界団体・行政との連携 ・従業員との関わり - 人権の尊重 - ダイバーシティの推進	1 80 119 123
102-13	団体の会員資格	・環境コミュニケーション - 環境に関する業界団体・行政との連携	80
<b>2. 戦略</b>			
102-14	上級意思決定者の声明	・創業者 久保田権四郎の創業者精神	3
102-15	重要なインパクト、リスク、機会	・気候変動の緩和と適応 - TCFD 提言に基づく開示 ・内部統制・リスクマネジメント - 内部統制・リスクマネジメント	41 166
<b>3. 倫理と誠実性</b>			
102-16	価値観、理念、行動基準・規範	・創業者 久保田権四郎の創業者精神 ・企業理念 ・内部統制・リスクマネジメント - 内部統制・リスクマネジメント	3 4 166
102-17	倫理に関する助言および懸念のための制度	・内部統制・リスクマネジメント - 内部統制・リスクマネジメント	166
<b>4. ガバナンス</b>			
102-18	ガバナンス構造	・コーポレートガバナンス - 基本的な考え方 - コーポレートガバナンス体制	153 153
102-19	権限移譲	・環境経営推進体制 ・従業員との関わり - 人権の尊重（人権啓発推進体制） ・コーポレートガバナンス - コーポレートガバナンス体制 ・内部統制・リスクマネジメント - 内部統制・リスクマネジメント（情報管理）	34 119 153 171
102-20	経済、環境、社会項目に関する役員レベルの責任	・環境経営推進体制 - KESG 経営戦略会議 ・従業員との関わり - 人権の尊重（人権啓発推進体制） ・コーポレートガバナンス - コーポレートガバナンス体制 ・内部統制・リスクマネジメント - 内部統制・リスクマネジメント（情報管理）	34 119 153 171
102-21	経済、環境、社会項目に関するステークホルダーとの協議	・株主・投資家との関わり - 株主との建設的な会話	110

GRIスタンダード番号	開示事項	ESG REPORT 2023 掲載箇所	掲載ページ
102-22	最高ガバナンス機関およびその委員会の構成	・コーポレートガバナンス - コーポレートガバナンス体制	153
102-23	最高ガバナンス機関の議長	・コーポレートガバナンス - コーポレートガバナンス体制	153
102-24	最高ガバナンス機関の指名と選出	・コーポレートガバナンス - コーポレートガバナンス体制	153
102-25	利益相反	・コーポレートガバナンス - コーポレートガバナンス体制	153
102-26	目的、価値観、戦略の設定における最高ガバナンス機関の役割	・コーポレートガバナンス - コーポレートガバナンス体制	153
102-27	最高ガバナンス機関の集合的知見	—	—
102-28	最高ガバナンス機関のパフォーマンスの評価	・コーポレートガバナンス - コーポレートガバナンス体制	153
102-29	経済、環境、社会へのインパクトの特定とマネジメント	・長期ビジョン GMB2030 実現に向けた K-ESG 経営 ・マテリアリティとありたい姿、指標 ・環境ビジョン ・環境経営推進体制	7 9 22 34
102-30	リスクマネジメント・プロセスの有効性	・内部統制・リスクマネジメント - 内部統制・リスクマネジメント	166
102-31	経済、環境、社会項目のレビュー	・環境経営推進体制	34
102-32	サステナビリティ報告における最高ガバナンス機関の役割	—	—
102-33	重大な懸念事項の伝達	・環境経営の基本方針 - 環境経営のアプローチ ・環境ビジョン ・環境経営推進体制 ・環境マネジメント - クボタグループの環境マネジメントシステム ・内部統制・リスクマネジメント - 内部統制・リスクマネジメント	18 22 34 74 166
102-34	伝達された重大な懸念事項の性質と総数	—	—
102-35	報酬方針	・コーポレートガバナンス - コーポレートガバナンス体制	153
102-36	報酬の決定プロセス	・コーポレートガバナンス - コーポレートガバナンス体制	153
102-37	報酬に関するステークホルダーの関与	—	—
102-38	年間報酬総額の比率	—	—
102-39	年間報酬総額比率の増加率	—	—
<b>5. ステークホルダー・エンゲージメント</b>			
102-40	ステークホルダー・グループのリスト	—	—
102-41	団体交渉協定	—	—
102-42	ステークホルダーの特定および選定	・環境コミュニケーション - 環境コミュニケーション活動	79
102-43	ステークホルダー・エンゲージメントへのアプローチ方法	・環境コミュニケーション - 環境コミュニケーション活動 ・お客様との関わり - 品質の維持・向上 ・取引先との関わり - 調達 ・株主・投資家との関わり - 株主との建設的な会話 ・従業員との関わり - 一人ひとりに安全な職場づくり - 人権の尊重 - ダイバーシティの推進 - 健康経営で目指す姿 - 重点を置いて取り組む課題 - グローバル化に対応した人事施策の推進 - CSR（企業の社会的責任）マインドの醸成 ・地域社会との関わり - クボタeプロジェクト - 緊急・人道支援 - 課題解決（食料） - 課題解決（水・環境） - 課題解決（その他の分野） - 次世代教育 - 企業スポーツを通じた社会貢献活動	79 101 107 110 112 119 123 132 133 134 136 140 141 142 143 145 145 148

GRIスタンダード番号	開示事項	ESG REPORT 2023 掲載箇所	掲載ページ
102-44	提起された重要な項目および懸念	・環境経営の基本方針 - 環境経営のアプローチ	18
		・環境ビジョン - 環境ビジョン策定にあたり	26
		・気候変動の緩和と適応 - TCFD提言に基づく開示	41
		・内部統制・リスクマネジメント - 内部統制・リスクマネジメント	166
<b>6. 報告実務</b>			
102-45	連結財務諸表の対象になっている事業体	・会社情報	5
102-46	報告書の内容および項目の該当範囲の確定	・編集方針	1
		・企業理念 ・マテリアリティとありたい姿、指標 ・環境経営の基本方針 - 環境経営のアプローチ	4 9 18
102-47	マテリアルな項目のリスト	・マテリアリティとありたい姿、指標 ・環境経営の基本方針 - 環境経営のアプローチ（環境経営におけるマテリアリティ）	9 19
102-48	情報の再記述	該当無し	—
102-49	報告における変更	・財務ハイライト	11
102-50	報告期間	・編集方針	1
102-51	前回発行した報告書の日付	・編集方針	1
102-52	報告サイクル	・編集方針	1
102-53	報告書に関する質問の窓口	・お問い合わせ先	裏表紙
102-54	GRIスタンダードに準拠した報告であることの主張	・参考にしたガイドライン	1
102-55	内容索引	・本表	177
102-56	外部保証	・環境報告に対する第三者保証	93
<b>マテリアルな項目</b>			
<b>経済パフォーマンス</b>			
<b>GRI 201：経済パフォーマンス 2016</b>			
201-1	創出、分配した直接的経済価値	・財務ハイライト	11
		・環境データ - 環境会計	87
201-2	気候変動による財務上の影響、その他のリスクと機会	・環境経営の基本方針 - 環境経営のアプローチ（リスクと機会） 気候変動の緩和と適応 - TCFD提言に基づく開示	20 41
		・環境データ - 環境会計	87
		・従業員との関わり - 人事に関する方針と人事制度（クボタ）	135
201-3	確定給付型年金制度の負担、その他の退職金制度	—	—
201-4	政府から受けた資金援助	—	—
<b>地域経済での存在感</b>			
<b>GRI 202：地域経済での存在感 2016</b>			
202-1	地域最低賃金に対する標準新人給与の比率（男女別）	—	—
202-2	地域コミュニティから採用した上級管理職の割合	—	—
<b>間接的な経済的インパクト</b>			
<b>GRI 203：間接的な経済的インパクト 2016</b>			
203-1	インフラ投資および支援サービス	・生物多様性の保全 - 生物多様性との関係性の評価	62
		・地域社会との関わり - クボタeプロジェクト - 緊急・人道支援	140 141
		- 課題解決（食料）	142
		- 課題解決（水・環境）	143
		- 課題解決（その他の分野）	145
		- 次世代教育 - 企業スポーツを通じた社会貢献活動	145 148
203-2	著しい間接的な経済的インパクト	・お客様との関わり - 研究開発	97 99
		・取引先との関わり - 調達	107
		・従業員との関わり - 人権の尊重	119

GRIスタンダード番号	開示事項	ESG REPORT 2023 掲載箇所	掲載ページ
<b>調達慣行</b>			
<b>GRI 204：調達慣行 2016</b>			
204-1	地元サプライヤーへの支出の割合	—	—
<b>腐敗防止</b>			
<b>GRI 205：腐敗防止 2016</b>			
205-1	腐敗に関するリスク評価を行っている事業所	—	—
205-2	腐敗防止の方針や手順に関するコミュニケーションと研修	・内部統制・リスクマネジメント - 内部統制・リスクマネジメント	166
205-3	確定した腐敗事例と実施した措置	—	—
<b>反競争的行為</b>			
<b>GRI 206：反競争的行為 2016</b>			
206-1	反競争的行為、反トラスト、独占的慣行により受けた法的措置	該当無し	—
<b>原材料</b>			
<b>GRI 103：マネジメント手法 2016</b>			
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	・環境経営の基本方針 - 環境経営のアプローチ（環境経営におけるマテリアリティ）	19
103-2	マネジメント手法とその要素	・環境ビジョン ・環境保全中長期目標と実績	22
103-3	マネジメント手法の評価	- 環境保全中期目標および実績	30
		・環境経営推進体制	34
<b>GRI 301：原材料 2016</b>			
301-1	使用原材料の重量または体積	・環境データ - バリューチェーンの環境負荷の全体像 - 主要な環境指標の推移	82
301-2	使用したリサイクル材料	—	83
301-3	再生利用された製品と梱包材	—	—
<b>エネルギー</b>			
<b>GRI 103：マネジメント手法 2016</b>			
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	・環境経営の基本方針 - 環境経営のアプローチ（環境経営におけるマテリアリティ）	19
103-2	マネジメント手法とその要素	・環境ビジョン ・環境保全中長期目標と実績	22
103-3	マネジメント手法の評価	- 環境保全中期目標および実績	30
		・環境経営推進体制	34
<b>GRI 302：エネルギー 2016</b>			
302-1	組織内のエネルギー消費量	・気候変動の緩和と適応 - 気候変動の緩和（事業所におけるエネルギー使用量と原単位の推移【グラフ】）	38
		・環境データ - バリューチェーンの環境負荷の全体像	82
		- 環境パフォーマンス指標算定基準（エネルギー・CO <sub>2</sub> 関連）	89
302-2	組織外のエネルギー消費量	・環境データ - 主要な環境指標の推移 - 環境パフォーマンス指標算定基準（エネルギー・CO <sub>2</sub> 関連）	83 89
		・環境保全中長期目標と実績 - 環境保全中期目標および実績 - 気候変動の緩和（事業所におけるエネルギー使用量と原単位の推移【グラフ】）	30 38
302-3	エネルギー原単位	・環境データ - バリューチェーンの環境負荷の全体像 - 主要な環境指標の推移	82 83
		・気候変動の緩和と適応 - 気候変動の緩和（CO <sub>2</sub> 削減対策）	36
302-4	エネルギー消費量の削減	—	—
302-5	製品およびサービスのエネルギー必要量の削減	—	—
<b>水</b>			
<b>GRI 103：マネジメント手法 2016</b>			
103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	・環境経営の基本方針 - 環境経営のアプローチ（環境経営におけるマテリアリティ）	19
103-2	マネジメント手法とその要素	・環境ビジョン ・環境保全中長期目標と実績	22
103-3	マネジメント手法の評価	- 環境保全中期目標および実績	30
		・環境経営推進体制	34
<b>GRI 303：水 2018</b>			
303-1	共有資源としての水との相互作用	・水資源の保全 - 水使用量 - 地域の水ストレス調査	55 57
		・水資源の保全 - 排水の管理	56
303-2	排水に関連するインパクトのマネジメント	—	—



GRIスタンダード番号	開示事項	ESG REPORT 2023 掲載箇所	掲載ページ
403-7	ビジネス上の関係で直接結びついた労働安全衛生の影響の防止と緩和	・従業員との関わり -健康経営で目指す姿 -重点を置いて取り組む課題	132 133
403-8	労働安全衛生マネジメントシステムの対象となる労働者	—	—
403-9	労働関連の傷害	・従業員との関わり -健康経営で目指す姿 -重点を置いて取り組む課題	132 133
403-10	労働関連の疾病・体調不良	—	—
<b>研修と教育</b>			
<b>GRI 404：研修と教育 2016</b>			
404-1	従業員一人あたりの年間平均研修時間	—	—
404-2	従業員スキル向上プログラムおよび移行支援プログラム	・環境マネジメント -環境教育・啓発 ・お客様との関わり -研究開発 -品質の維持・向上 -お客様満足につながる技能の研鑽 ・従業員との関わり -一人ひとりに安全な職場づくり -人権の尊重 -ダイバーシティの推進 -健康経営で目指す姿 -重点を置いて取り組む課題 -グローバル化に対応した人事施策の推進 -人事に関する方針と人事制度（クボタ） -CSR（企業の社会的責任）マインドの醸成	77 97 101 103 112 119 123 132 133 134 135 136
404-3	業績とキャリア開発に関して定期的なレビューを受けている従業員の割合	—	—
<b>ダイバーシティと機会均等</b>			
<b>GRI 405：ダイバーシティと機会均等 2016</b>			
405-1	ガバナンス機関および従業員のダイバーシティ	・従業員との関わり -一人ひとりに安全な職場づくり -ダイバーシティの推進	112 123
405-2	基本給と報酬総額の男女比	—	—
<b>非差別</b>			
<b>GRI 406：非差別 2016</b>			
406-1	差別事例と実施した救済措置	・内部統制・リスクマネジメント -内部統制・リスクマネジメント	166
<b>結社の自由と団体交渉</b>			
<b>GRI 407：結社の自由と団体交渉 2016</b>			
407-1	結社の自由や団体交渉の権利がリスクにさらされる可能性のある事業所およびサプライヤー	該当無し	—
<b>児童労働</b>			
<b>GRI 408：児童労働 2016</b>			
408-1	児童労働事例に関して著しいリスクがある事業所およびサプライヤー	該当無し	—
<b>強制労働</b>			
<b>GRI 409：強制労働 2016</b>			
409-1	強制労働事例に関して著しいリスクがある事業所およびサプライヤー	該当無し	—
<b>保安慣行</b>			
<b>GRI 410：保安慣行 2016</b>			
410-1	人権方針や手順について研修を受けた保安要員	—	—
<b>先住民族の権利</b>			
<b>GRI 411：先住民族の権利 2016</b>			
411-1	先住民族の権利を侵害した事例	該当無し	—
<b>人権アセスメント</b>			
<b>GRI 412：人権アセスメント 2016</b>			
412-1	人権レビューやインパクト評価の対象とした事業所	—	—
412-2	人権方針や手順に関する従業員研修	・従業員との関わり -人権の尊重	119
412-3	人権条項を含むもしくは人権スクリーニングを受けた重要な投資協定および契約	—	—

GRIスタンダード番号	開示事項	ESG REPORT 2023 掲載箇所	掲載ページ
<b>地域コミュニティ</b>			
<b>GRI 413：地域コミュニティ 2016</b>			
413-1	地域コミュニティとのエンゲージメント、インパクト評価、開発プログラムを実施した事業所	—	—
413-2	地域コミュニティに著しいマイナスのインパクト（顕在的、潜在的）を及ぼす事業所	—	—
<b>サプライヤーの社会面のアセスメント</b>			
<b>GRI 414：サプライヤーの社会面のアセスメント 2016</b>			
414-1	社会的基準により選定した新規サプライヤー	—	—
414-2	サプライチェーンにおけるマイナスの社会的インパクトと実施した措置	—	—
<b>公共政策</b>			
<b>GRI 415：公共政策 2016</b>			
415-1	政治献金	該当無し	—
<b>顧客の安全衛生</b>			
<b>GRI 416：顧客の安全衛生 2016</b>			
416-1	製品およびサービスのカテゴリに対する安全衛生インパクトの評価	・お客様との関わり -生産・品質管理 -品質の維持・向上	99 101
416-2	製品およびサービスの安全衛生インパクトに関する違反事例	—	—
<b>マーケティングとラベリング</b>			
<b>GRI 417：マーケティングとラベリング 2016</b>			
417-1	製品およびサービスの情報とラベリングに関する要求事項	—	—
417-2	製品およびサービスの情報とラベリングに関する違反事例	—	—
417-3	マーケティング・コミュニケーションに関する違反事例	該当無し	—
<b>顧客プライバシー</b>			
<b>GRI 418：顧客プライバシー 2016</b>			
418-1	顧客プライバシーの侵害および顧客データの紛失に関して具体化した不服申立	該当無し	—
<b>社会経済面のコンプライアンス</b>			
<b>GRI 419：社会経済面のコンプライアンス 2016</b>			
419-1	社会経済分野の法規制違反	該当無し	—